

大型鋼構造物の建造工程導入に向けたレーザ・アー クハイブリッド溶接技術の適応範囲拡張に関する検 討

上村, 崇杜

<https://hdl.handle.net/2324/4784562>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	上村 崇杜
論文名	大型鋼構造物の建造工程導入に向けたレーザ・アークハイブリッド溶接技術の適応範囲拡張に関する検討
論文調査委員	主査 九州大学 教授 後藤 浩二 副査 九州大学 教授 宇都宮 智昭 副査 九州大学 教授 柳原 大輔 副査 広島大学 教授 山本 元道

論文審査の結果の要旨

本研究は、高品質な溶接継手が得られるレーザ・アークハイブリッド溶接の適用範囲拡大に向け、突合せ継手製作に関しては、有用な仮付け方法及び施工可能な溶接姿勢の拡張、片側貫通完全溶込み T 継手に関しては、実機レベルの溶接長に対して安定した施工及び耐疲労性能に優れた継手製作を可能とする施工条件の確立について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。